

12/28 木

マイナ受診わずか4.33%

11月利用率7カ月連続減少

医療機関や薬局の窓口で保険資格をオンラインで確認した件数のうち、健康保険証と一緒にマイナンバーカードを利用した件数は4・33%で、7カ月連続で減ったことが厚生労働省の調べで分

かりました。利用件数は約727万件で、10月と比べ52万件減少しました。厚労省は今回、現行保険証でシステムの導入が原則義務化された今年4月以来、最も少なくなりました。

岸田政権は22日、現行保険証の2024年12月2日の廃止を閣議決定。トラブルを解消してもいいのに、医療機関や薬局に対しカード受診に対応するよう「案内」を行う予定です。23年度補正予算には、▽利用率を増や

した▽カード読み取り機を増設する――いう助金を盛り込むなり構わぬ姿勢です。

マイナカードでの受診をめぐっては▽「無効・資格情報なし」になる▽名前や住所、窓口担当の担当が違うなどトラブルが相次ぐ一方、厚労省とデジタル庁は「マイナ保険証、一度使ってみませんか」キャンペーンを展開。利用件数は9月からわずかに増え出したものの、11月にまた減少に転じました。

現行保険証を使ってカードでの受診727万件の実際の「利用率」には、▽利用率を増や